

カフェユニゾン休業に当たっての個人的メッセージ

店主 三枝克之

このたびカフェユニゾンを12月31日18時をもちまして、人手不足のため当面の間、いったん休業することにいたしました。

<https://www.cafe-unizon.jp/topics-1353/>

と同時に、僕自身もカフェユニゾンの店主を引退し、オフィスユニゾンとしての編集・執筆・著作・プロデュース業に専念させていただくことにしました。

営業再開の能否・時期は現時点では未定ですが、2005年11月の創業から18年あまり運営してきた、長いような短いようなカフェユニゾンの歴史としては、いずれにせよ一区切りとなります。

この間、ご愛顧いただいたお客さまはもちろん、ライブやイベント、展覧会などにご出演・ご出展いただいたミュージシャンや作家、アーティスト、食材はじめ物販やフェアなどでお取引させていただいた生産者・工房・卸業のみならず、ご紹介いただいた数々のメディア、創業時よりサポートいただいた株式会社ミックスさま、そして何よりも、「見かける確率がヤンバルクイナ並み」といわれる店主に代わって現場を担ってきた歴代の店長やマネージャー、スタッフたち、すべてのかたがたに心より感謝申し上げます。

*

ご存じのように飲食店の人手不足・人材不足は深刻です。これはカフェユニゾンも例外ではなく、ここ5～6年は常にその問題と格闘してきた感があります。

また正直に言えば、やはりコロナ禍による経営的影響や外食をめぐる社会環境の変化は、個人事業にはとても大きなダメージがありました。

元来が、飲食店事業よりも、文化創造の場としての価値に魅力を感じてカフェを経営してきた僕としては、コロナ禍以降は楽しさよりも、空疎感に苛まれる日々が続きました。

来年2月には60歳という、サラリーマンなら定年退職となる年齢を迎え、10人前後のスタッフを預りながらカフェを経営し、並行して僕個人の仕事もこなしていくのは、体力的にも精神的にもキツくなってきています。

9年前に負った頸髄損傷の後遺症による麻痺も、年齢とともに負荷が増すことはあっても、減ることはありません。

創業した40歳前半当時に比べると、スタッフたちとの年齢差・世代差のギャップも大きくなりました。

コミュニケーションの取り方の難しさや価値感の違いも顕著に感じる事が多く、若い世代にマネジメントを託すべき潮時を感じるこの頃です。

一方で、自分の人生を考えれば、残りがさほど長いわけではありません。

カフェユニゾンを経営している間は、どうしても自分自身の本作りは後回しとなってしまう、数えるほどしか本を作れていませんでした。

今さらですが、やはりいくつかは作っておきたい本、書いておきたい本の企画があります。

そろそろそんな本のために時間やエネルギーを回したいと思う年頃となり、本業である「本」業にシフトできればと考えた次第です。

*

この18年間のカフェユニゾンの歩み、店での出会い、スタッフたちとの日々、作ってきたメニュー、開催してきたライブやイベント、フェア、展覧会など、その想い出は、あまりに多すぎて、それこそ本が1冊書けそうな気がします。

今ここでそれらを取り上げることはできませんが、2016年には『& Premium』（マガジンハウス）さんから機会を頂戴し、「カルチャーのあるカフェ。」特集内で「カフェユニゾン物語」を綴らせていただきました。

その記事は、ムック版『& Premium特別編集 お茶とコーヒー、そしてカフェ。』に再掲されていますので、よければご参照下さい。

<https://magazineworld.jp/books/paper/5414/>

その創業11年当時の記事の中で僕は、「カフェ作りは常に未完の小説だ。」と記しました。

それから7年を経て、このたび一区切りを迎えるにあたって、「ああ、やはり未完のままだったなあ」と感じます。

とはいえそれは、後悔があるとか、やり残したことがある、とかそういう感覚ではありません。

自分の能力の小ささを考えると、やり尽くした感さえあります。

リチャード・ドーキンスが『利己的な遺伝子』で提唱した、文化もまた遺伝子のよ
うに情報を仕次ぎし、進化するものであるとする、〈ミーム〉という概念。

「カフェ」というものの役割の一つが、文化創造の場にあるのなら、ここまで僕が
運営してきたカフェユニゾンも、なにがしかの〈ミーム〉=文化的遺伝子の一つか
二つは残せたのではないかと思います。

むしろ完成するなんて甚だおこがましい。

「未完でじゅうぶん」、それが今の偽らざる心境です。

18年という成人年齢でもあり、親としての務めは一応果たせたかなと思います。
今後は巣立ちしたカフェユニゾンの場、あるいは蒔いてきた〈ミーム〉が、どのよ
うに変異していくのかを眺め、これを生きるよすがといたします。

そうそう、一つ心残りがあるとすれば、「チュラネシア」のブランド名で昨年より
販売開始したオリジナルスイーツ商品。

<https://shop.cafe-unizon.jp/categories/3272352>

開発に想定以上の時間がかかってしまい、当初予定したラインナップがようやく完
成し、賞味期限検査も終えたところで、このタイミングを迎えてしまいました。

しかしこの「チュラネシア」については、また別の「〈ミーム〉の乗り物」を用意
して、進化させていければと思っています。

*

カフェユニゾンとあの空間については、関係各位と相談しつつ、今後の展開を検討
中です。

方向性が見えてきましたら、また時宜をはかってアナウンスさせていただきます。
もし現時点で積極的にご活用をお考えのかたがおられましたら、ご連絡いただけれ
ばと存じます。

僕個人の編集・執筆・著作・プロデュース業としての〈オフィスユニゾン〉の拠点
についても、前文と合わせてあらためてお伝えいたします。

どうか今後とも引き続きのご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。

ちなみに、日本本土あるいは台湾に移るとかは今のところ考えていません。

もうしばらくは沖縄のお世話になりたいと思っています。

末筆となりますが、みなさまの今後のご多幸とご健康、来る新しい年の平和と安寧
を心よりお祈り申し上げます。

それでは、どうか良い年末、良い正月をお迎えください。